１．　環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼№	3	事例№	2	依頼者	岩倉市市民協働部環境政策課	実施場所	岩倉東小学校 岩倉南小学校
実施対象	小学 4 年生　4 クラス　　計 140 名						
実施日時	令和 7 年 6 月 12 日（木）10 時 35 分～11 時 20 分(3 限目)(岩倉東小学校・1 クラス) 令和 7 年 6 月 16 日（月）　8 時 50 分～11 時 30 分(1～3 限目)(岩倉南小学校・3 クラス)						
テーマ	緑のカーテン教室						

●依頼内容

岩倉市内の小学校の児童を対象に実施する「緑のカーテン教室」の講師を紹介してほしい。緑のカーテン教室は、児童一人ひとりが地球温暖化について考え、実践する機会を創出するとともに、地球温暖化について知識を深めてもらうことを目的としており、授業では地球温暖化対策の必要性やゴーヤーの育て方に関わる講義（20 分）と屋外での緑のカーテンの設置体験（25 分）を実施したい。

●講師：堀田英夫 氏（愛知県地球温暖化防止活動推進員）

堀田英夫氏は、愛知県地球温暖化防止活動推進員として、平成 30 年度および令和 4 年度～令和 6 年度に岩倉市からの依頼により、地球温暖化問題と緑のカーテンづくりをテーマに講師を務めた実績がある。

●授業の内容　（各学校・各クラスとも同じ内容・流れで実施）

座学	地球温暖化対策の必要性とゴーヤー（緑のカーテン）の育て方	はじめに、講師の自己紹介が行われ、つづいて、パワーポイントを使って講義が行われた。地球温暖化の主な原因は二酸化炭素が増え過ぎたことであり、温暖化を止めるためにはエネルギーの無駄使いをやめることが重要である。同時に、木を植えたり森を守ったりすることも温暖化を止めるための大切な取組であることを学んだ。緑のカーテンは部屋の温度を下げ、省エネ効果が期待できるだけでなく、実の収穫も楽しむことができるので、家庭でもぜひ取り組んでほしいと呼びかけられた。そして、ゴーヤーの苗の植え方や水やりの方法、成長に合わせた手入れ、収穫したゴーヤーの食べ方などについての説明が行われた。	20 分
実習	ゴーヤーの植え付け体験	校庭に移動し、ゴーヤーの苗の植え付け体験を行った。プランターの土に穴を掘って苗を置き、まわりの土をしっかりと押さえ、最後に水を与えて作業を終わらせた。（家庭でも緑のカーテンづくりに取り組んでもらえるよう、希望する児童には、ゴーヤーの苗が配布された。）	25 分

●授業の様子

講義は、イラストや写真をたくさん用いたパワーポイントを使って行われ、子どもたちは静かに集中して講師の話を聞いていた。校庭でのゴーヤーの苗の植え付け体験では、子どもたちは講師や担任の先生にアドバイスを受けながら、グループをつくりみんなで協力しながら真剣に作業を行っていた。

地球温暖化と緑のカーテンづくりについて学んだ。



ゴーヤーの苗の植え付け体験を行った。

